# 産地パワーアップ事業の取組事例　（鳥取県）

## 取組の概要

取組の概要　：農産物処理加工施設の整備
計画作成主体：鳥取市農業再生協議会
対象品目　　：らっきょう（露地野菜）
　　（産地面積:117ha）
主な取組主体：鳥取いなば農業協同組合
成果目標　　：販売額の10%以上の増加（単位面積）
助成金の活用状況：整備事業（農産物処理加工施設）

## ポイント

○加工施設の機能向上により、加工らっきょうの生産能力が向上する。これにより、豊作年の価格暴落が回避でき、価格の高位安定化が図られ生産者所得の向上が期待される。

○また、現施設以上に衛生管理の徹底が容易となり、安定したブランド維持と販売が可能となる。

## 地区の概要

*鳥取県*
*鳥取市福部町地区*

## 産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

露地面積：117ha
販 売 額：846千円/10a

〈目標:H30年度〉

露地面積：117ha
販 売 額：930千円/10a

次の100年を目指します！

## 推進体制

○地域の関係者（生産者、鳥取いなば農業協同組合、県（農林事務所、普及所、試験場）、鳥取市が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ブランド力向上に向け、H17年に「砂丘らっきょう」の商標登録を取得。
H28年には生らっきょうを対象とする農林水産省GI（地理的表示保護制度）登録を取得。（「鳥取砂丘らっきょう」「ふくべ砂丘らっきょう」）

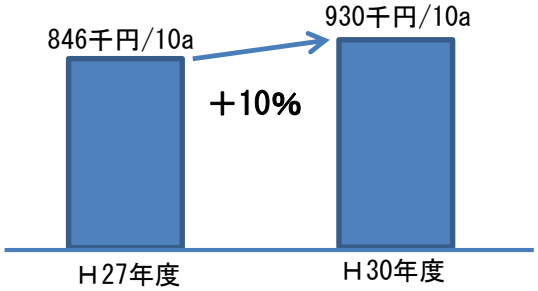
○現在、加工らっきょうを対象とするGI取得に向けた申請を行っている。

○また、地元において特産品としての認識を深めるため幼稚園、小学校、中学校を対象とした植付、収穫体験や漬け方講習会を行うなど、食農教育の取組を行っている。

## 事業効果

○施設整備によって衛生環境が改善され、品質管理にかかる負担の軽減。

○処理能力が向上することで安定的な出荷体制が実現し、販売力の強化。

○市場動向に左右されにくい加工品への取組強化により、農家所得の安定化。

**～らっきょうの販売額～**